

わんぱく学園ニュース

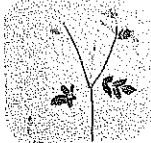
平成22年 1～2月号 No145

“騎虎(きこ)の勢” 「一日に千里走る虎に乗った以上、途中で降りることはできません。勢いを失い、降りれば乗っていた虎に食われてしまいます。虎と一緒に最後まで行かねばなりません。大事を起こすことに立ち上がった以上、途中で止めることなく、必ずや目的達成のために、やり抜いて下さい！」昔の中国、北周の天下を狙って戦っている夫である高祖文帝へ妻である独孤(どっこ)皇后が贈ったことばです。

今は、諦め(あきらめ)の早い風潮がまかり通る時代。我慢することをしない人たちが多くなった現代、波乱の続く今だからこそ、腹をすえて問題を直視する勇気が求められているのではないのでしょうか？

今年こそ、虎の勢いに乗り、そこから安易に降りることなく、景気の回復に力を尽くしたいものです。

わんぱく学園も歩き続けて早23年…。今年も更なる勢いを「虎」の背に乗せ、走りたいものです。



レポート ; 長岡 真弓 (三葉園)

◆11月6日(日) 焦げた タコ焼き

この日集まったのは6名。「何をつくらうか？」と全員で相談し合い、タコ焼きづくりに決定!!。そこで材料の買い出しに出掛けた。キャベツ、タコ、ソーセージ、天かす、粉など。洗う、刻む、切る、粉に水や卵を入れまぜる等分担しあった。タコ焼き器に油をひき、具を一度に沢山入れた。そしたら美味しそうな匂いが部屋いっぱい。「なかが、まだ焼けてないねえ」じっ～と見てた。そのうち焦げる匂いがしだし、あわてて引っくり返そうとした。でも引っついてしまい、なかなか引っくり返すことも出来ず大あわて…。いっぺんに引っくり返すことが出来ず、くずれた。見れば何と真っ黒々こげ。おいしそうな匂いは消えこげた匂いが部屋中に。「食べれるかなあ?」「こげは身体によくないってお家の人言ってたよ」「じゃあ～捨てる?」「でも食べれる所は食べた方が…勿体ないもん」こげたのから食べた。大騒ぎして作ったし皆で食べたタコ焼きはおいしかった。なぜかタコ焼きの味もした。でも2回目からは量や熱の調節に気がつけたよ。タコ焼き屋さんになれた。

ぼちぼちエッセイ

「子ども達の発想」はいつも新鮮。23年間、わんぱく学園を続けて本当に良かったな……と思うことは、常に新鮮で純粋な子ども達の発想に出会えたことでした。

そうそう…ずっとずっ～と前、かれこれ20年前、自称平田のムツゴロウさんらと旅伏山に登ったことがありました。その当時、小学校低学年の誠くん「あっ!、こんなところに空き缶が…」と木の茂みから缶を見つけ、拾い出したのです。その姿を見た渡くん「ぼくも、見つけよっと」。上り道での空き缶や割り箸などのゴミ拾い遊びが、いつの間にか始まりました。その遊びをしながら山頂へ。

そして、下りながら「な～んだ、こんな所にも割り箸さん!隠れんぼ上手なんだね」。ただゴミが汚いものとしか思っていないぼちぼちの私。空き缶やナイロン袋などにも命・存在を素直に認め、遊びとしてとらえている子ども達の感性…すごいな…。このように山を自然のままの姿に美しくきれいにしようとする素直な心が、こんな会話(遊び)を生み出したのです。

素敵な発想のできる子ども達が、このわんぱく学園にはいるんですよ…!!。子どもに帰ることって大切ですね!?



(記 土江 継)

1月・2月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

1月24日	のんびり初湯“ゆらり”(梶場新ゆらりに直接 担当 平井敦・土江継) 入場料として300円(一部園補助) 準備 タオル ※10時～
31日	餅つき&黄な粉もち (担当 山口恵・土江継) 場所 アトリエ「おちらと」 準備 エロン 材料費 100円
2月 7日	白菜を描こう!! (担当 槇野 麟・常賀 寛) 場所 キャラリ「ミチル」 ♪ミチル喫茶お楽しみに
14日	コンニャク屋さんになってあそぼ! (担当 福田 稔・土江継) 場所 アトリエ「おちらと」 材料費 100円
21日	トランプ・かるたで遊ぼう (担当 山口恵・土江継) 場所 アトリエ「おちらと」 ♪おちらと 糧 飲みにおいでませ
28日	粘土コネコネと初ガマ《楳栗》 (担当 安食 ひろ・常賀 寛) 場所 アトリエ「おちらと」 材料費 200円

★船時間9時30分 船場所 文化館駐車場又は直接行ってもいいですよ
★学園問い合わせ先 ; 土江《麟 090-7774-5913》 [文責 土江 和世]